

支援事業活用のススメ

チョウザメ魚肉の長期鮮度 保存技術開発

(平成26年度環境リサイクル技術開発・事業化支援事業採択)

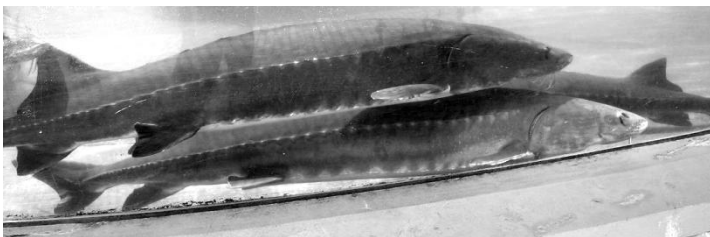
(共同研究グループ)

株式会社水永水産(門川町)

ジャパンキャビア株式会社(宮崎市)

宮崎県水産試験場

当機構では、県内企業と大学・高等専門学校・公設試験研究機関が取り組む「産学官共同研究事業」を支援しています。今回はその成果事例として、キャビア採取後の「チョウザメ」に関する研究事例をご紹介します。



伊勢志摩サミットでも各国首脳陣に提供された「宮崎キャビア1983」は国内外からも評価が高く、今後の生産量はますます増加することが期待されています。

一方、キャビアを採取した後に残る「チョウザメ」は、食用魚肉として加工・流通されているが、キャビア生産にはシーズンがあるため、短期間に大量のチョウザメ魚肉が発生する問題があります。チョウザメ魚肉を年間を通して安定的に提供するには、

①大量の魚肉を加工する技術

②チョウザメ魚肉の冷凍保存技術

の確立が喫緊の課題でありました。

これらの課題を解決するため、門川町の株式

もくじ

支援事業活用のススメ

- チョウザメ魚肉の長期鮮度保存技術開発

コーディネーターの窓

- ふりかえて、そして次へ
- 経理業務を効率化して時間をつくる

施策トピックス

- “新たな取引先開拓の最短ルート” 「ものづくり取引商談会」を開催します!
- 設備導入資金をお手伝い! 「みやざき設備資金貸付事業」
- みやざき農商工連携応援ファンド事業助成金

機構トピックス

- 宮崎県商工会連合会と包括連携協定を締結!
- よろず支援拠点の相談体制を強化しました!

会社水永水産、宮崎市のジャパンキャビア株式会社、宮崎県水産試験場の産学連携による共同研究が平成26年度にスタートし、28年3月に終了。現在、事業化に向けた取り組みが進んでいます。

【研究課題①「大量の魚肉を加工する技術」の確立】

これまで、チョウザメ魚肉の加工方法(皮剥ぎ〜フィレ加工)は手作業で行っていたため、加工に時間を要していた。今回、チョウザメ専用の皮剥ぎ機を開発し、フィレ加工を機械化する事により、従来の手作業による加工時間を半分まで短縮することができた。

【研究課題②「チョウザメ魚肉の冷凍保存技術」の確立】

一定期間冷蔵熟成処理を行った後、急速凍結することで、解凍時のドリップ量を10%以下に抑えることができた。また、-23℃で一定

＝ 支援事業活用のススメ

期間保存した魚肉の品質（水分量、ドリップ量、魚肉の色、破断強度、脂質酸化、ビタミンE等）を測定した結果、6ヶ月間品質を保つことができた。

【研究成果】

今回の研究成果により、チョウザメ魚肉を年間を通して安定的に供給できる体制が整った。今後は、チョウザメ魚肉を一般消費者が直接購入できる販売体制を強化していく予定である。

また、今回の研究ではチョウザメの未利用部分「鰾（うきぶくろ）」を使用した「アイシン

グラス」の試作開発も実施している。

「アイシングラス」は、絵画や古美術品などの文化財や、希少価値の高い年代物の弦楽器（いわゆるヴィンテージ楽器）の修復材料（接着剤）、ビールやワインの製造工程で整澄剤として使用されているが、国内産のアイシングラスは殆どなく、輸入に頼っている状況である。

今後はアイシングラスの製品化を目指して、更なる研究を重ね、将来は日本産アイシングラスとして国内外へ販売していく予定である。

＝ コーディネータの窓

ふりかえって、そして次へ

「お～い、地元中小零細企業者のお手伝いや悩み相談の窓口のよろず支援拠点のコーディネーターやってみらんね」と声を掛けられ半年が過ぎた。

それまでは、市役所の土木職員として公園や道路そして下水道の整備に25年携わり、辞令は突然に、とある年度の4月より企業誘致担当のチーフの席に、最初はかかってきた電話を取るのも正直怖かった思いがあるが、徐々にその思いも和らぎ地元をはじめ多くの企業人とお付き合いが出来るようになっていった。

あれやこれやと数年が過ぎまたもや突然に、今度は大学誘致というポジションに、この事業も多くの方の尽力によりひと段落したと思いきや商工会議所に出向して、商店街をはじめ商工業者と行政の懸け橋になって「まちづくり」に精を出すこととなったが、就任して間もなく老舗百貨店の突然の閉鎖“OH・MY GOD!”まちづくりの核となるべき施設が突然空きビルとなった。

さあどうする？
・・・まずは、受け皿会社の設立（会議所会員に出資募集）、代理人との交渉、バンクミーティングでの説明を行い、

皆様の協力の下、何とかまちづくりの核となる施設の取得を果たし、施設の解体まで終了し、お役目ご苦勞となっていたところに「お～い」とお声がかかった次第であります。

中小企業診断士でも無い、税理士、会計士でも無い、このような私が本当に事業所の皆様方のリアルタイムな悩み事に対応し、解決することができるのか、また寄り添うことが出来るのか。内心は不安の塊でスタートした。

しかし、私以上に大きな不安を抱えて「よろずの窓口」をノックされる相談者に頼れるコーディネー



ターでなくてはならない。いい加減な対応は絶対許されないし、自信のない対応は不信感と不安感を増幅してしまう。コーディネーターという肩書を頂いた以上、当然この職責を果たす義務がある。今まで培ってきた経験や人脈を生かし、相手の立場になって同じ目線で真剣に取り組んで行き、一緒になって勉強しながら相談に応じて行くように心がけている昨今である。

私の担当する地域は、第一次産業を基幹産業とする地域であり、特に畜産業が全国ナンバー1で、六次化や海外ビジネスに関連するニュービジネスの相談も件数を重ねている。TPPを目前に控え、行政サイドや金融機関の多様な事業も創出され、六次化等の事業のバックアップ体制が整っているが、農業生産者が自ら生産、製造、販売まで手掛けることは、稀なことであり、多くは異業種の連携により、六次化や海外ビジネスへと展開されていくことがより確実であると考えます。

一次産業、二次産業、三次産業の縦の糸を私たち

コーディネーターの横の糸で繋ぐことが、結びつきを強くしニュービジネスが頑丈な一枚の布として創設され事業を展開して行くことになることを考えると、私達の日々行っている個々の相談が如何に重要で、必然的なものか、そして私達コーディネーターがパラボラアンテナを活用して、常にリアルタイムな情報収集を怠らないことでスキルアップすることが重要となってくる。

一週間に一回のコーディネーター会議、一ヶ月に一回の他の関連組織を交えての全体会議、この事が情報の共有化に繋がり、最新情報を得て相談者を後押し地域の活性化に繋がって行くこと確信している。

宮城県よろず支援拠点
コーディネーター
倉吉 教文

元都城商工会議所専務理事として異業種連携に力を注ぎ、多方面にネットワークを持つ。



経理業務を効率化して時間をつくる



平成26年7月に宮崎市内に公認会計士事務所を開設し、今年の4月から、よろず支援拠点のコーディネーターに就任しました。会計の世界に足を踏み入れたのは四半世紀も

前の大学生のころ。資格取得後は、企業や学校法人等の会計監査に従事し、開業後は、決算書を作成支援する側となりました。

経営資源は人、物、金、情報と言われますが、中小企業の経営者にとっては時間が最も貴重な資源ではないでしょうか。直接的には、お金を生まない経

理業務は徹底的に効率化して、余力を作り、本業に力を注ぎましょう。商業高校や大学の商学部を卒業しない限り、簿記を学ぶことはなく敬遠しがちですが、自計化したほうが、会計情報をタイムリーに把握でき、便利です。

まずは、手書きの管理簿を止めてエクセルでの作成に移行しましょう。手書き管理簿だと再利用の余地が乏しく、数字の集計も間違いやすいです。

次に、会計ソフトへの入力という作業があります。これが、まとめてやると、大変。ありきたりですが、こまめにやりましょう。会計ソフトは項目を選択して入力するので、エクセルに比べたら遅い。会計ソフトにはCSV取込という機能があるため、エクセルで入力用シートを作成し、CSVで取込めば、時間短

＝ コーディネーターの窓

縮になります。

預金については、取引銀行のネットバンキング契約をする。ネットバンキング契約をすれば、銀行の窓口やATMに向いて振込をする必要性もなく、振込手数料も安い。窓口での待ち時間、往復の時間が節約できる。通帳記帳しなくても、常に預金残高を把握できる。ただし、パスワードをこまめに替えるなど、セキュリティについては十分注意しましょう。

販売管理システムから紙で売上日報、月報を出力して、入力すると、転記という作業を通すので、入力間違い、漏れの可能性が生じる。よって、データの外部エクスポートで、会計ソフト取込用に加工しましょう。

領収書などの証憑管理も制度上、電子保存が許容されるようになってきています。スキャナーだけでなく、スマホのカメラで撮影保存することも可能となっています。

経費精算も時間が取られます。小口現金を準備すると、現金管理が必要となるので、小規模な会社では現金勘定は使わず、(役員)仮受金等で、処理し

ましょう。経費精算も、同一支店内に預金口座があれば、無料で送金できます。源泉所得税の納付はe-Taxで徴収高計算書を作成し、電子納税で。所得税徴収高計算書だけであれば、電子証明書は不要です。

人件費は、給与計算ソフトで計算したら自動転記ですね。

クラウド会計の発展は、業務系システムからの自動仕訳の世界を、低コストで中小企業にも開放したとも言えます。

業務効率化によって節約した時間は、前年同期比較、前月比較など試算表のチェックに充てましょう。売上、預金残高、売掛金(回収遅延がないか)、買掛金(支払い忘れが無い)か) 気づき事項も多いでしょう。

宮崎県よろず支援拠点 コーディネーター 村上 秀幸

中小企業の経営改善計画策定支援や企業再生プロジェクトで実績を持つ。



＝ 施策トピックス

“新たな取引先を見つける最短ルート”

「ものづくり取引拡大商談会」を開催します!

機構では、県内ものづくり中小企業の取引拡大を支援するための商談会を、平成28年11月10日(木)～11日(金)の日程で開催します。

県外の発注企業約25社程度(予定)を宮崎市の会場(MRT Micc)に招き、取引を希望する県内企業と面談形式で商談をしていただく商談会です。

概要は、下記機構ホームページからご覧いただき、参加のお問い合わせ、詳細につきましては機構の担当者までお問い合わせください。



■ホームページアドレス

<http://www.i-port.or.jp/events/clst/16111001>



▲取引相談会の様子

お問い合わせ先

(公財)宮崎県産業振興機構

電話：0985-74-3850

担当：産業振興課 古川・大木まで

設備導入資金をお手伝い!

「みやざき設備資金貸付事業」を活用してみませんか?

機構では、新たな事業用設備の導入や、現在使っている設備の更新などを目的とした資金確保を支援するため、「みやざき設備資金貸付事業」を実施しています。

本事業を上手に活用して、事業の拡大、効率アップ、あるいは新たな分野への進出にチャレンジしませんか。



活用事例 ～ 柳田酒造(合) 都城市



▲ステンレス蒸器



▲甘藷洗浄製造ライン

※柳田酒造(合) 様：
平成26年度は焼酎製造設備として「ステンレス蒸器」、今年度も「甘藷洗浄ライン」を本事業を活用して導入。「作業の短縮、品質の向上、量産等に大変重宝しています。」
(柳田社長)

事業概要

設備の導入に要する資金の1/2(最大2,000万円まで)を、“無利息”で貸付ができるもので、返済は3年以上7年以内(元金据置最大6ヶ月)となります。

また、事業計画に不安がある場合には、当機構の「よろず支援拠点」でのご相談も併せて受けることができます。

なお、対象企業は、県内の中小企業であることなど基準を満たす必要があり、貸付に際しては一定の審査があります。詳しくは、下記のHPアドレスからご確認ください。

お気軽にご相談をお待ちしております。

■ホームページアドレス

http://www.i-port.or.jp/jigyuu/10_setsubishikin.html



お問い合わせ先

(公財)宮崎県産業振興機構

電話：0985-74-3850

担当：産業振興課 松岡・緒方まで

みやざき農商工連携応援ファンド事業助成金 農林漁業者と中小企業者が連携して行う新商品開発を支援します！

公益財団法人宮崎県産業振興機構では、県内の農林漁業者と中小企業が連携して行う新商品・サービスの開発、販路開拓や新しい生産技術等の開発の取り組みを支援するため、今回、下記の要領で、「みやざき農商工連携応援ファンド事業助成金」の公募を行います。

1.助成対象者

- 県内の農林水産資源を活用し、新商品、新技術の開発や、販路開拓を行う県内の農林漁業者と中小企業者の連携体
- 農商工連携の取り組みに対して、助言・指導、セミナー開催等の支援事業を行う県内の公益法人、NPO法人、大学などの教育機関や地域の協議会組織の機関や団体

2.助成対象事業と助成率等 <助成する事業は以下の3事業です>

(1)農商工連携新商品等開発促進事業

対象事業 中小企業者と農林漁業者との連携体が行う新商品・新サービスの開発、販路開拓に関する事業

- 助成率 : 2/3以内
- 助成限度額 : 10,000千円
- 事業期間 : 3年以内

(2)農商工連携新生産技術等開発支援事業

対象事業 中小企業者と農林漁業者との連携体が行う農林水産物の生産や加工に必要な機械、装置、生産システム等の開発・研究に関する事業

- 助成率 : 2/3以内
- 助成限度額 : 10,000千円
- 事業期間 : 3年以内

(3)農商工連携支援機関活動助成事業

対象事業 農商工連携事業を支援する団体が行う中小企業者や農林漁業者への助言、指導、セミナー開催等の普及啓発活動事業

- 助成率 : 10/10以内
- 助成限度額 : 20,000千円
- 事業期間 : 2年以内

3.募集期間

平成28年10月3日（月）から平成28年12月2日（金）17時まで（必着）

4.申込方法

申請書様式を当機構のホームページ（<http://www.i-port.or.jp>）からダウンロードし、必要事項をご記入の上、添付書類を添えて直接お持ちください。なお、応募される場合は、事前にご相談ください。

お問い合わせ・提出先

〒880-0303
宮崎市佐土原町東上那珂16500-2
公益財団法人宮崎県産業振興機構
農商工連携推進課 担当：隅、肥田
TEL：0985-74-3850
FAX：0985-74-3950

<新商品の開発事例>



▲平成27年度助成：(株)器
青島どれ水産品の加工食品開発



平成26年度助成：千徳酒造(株)
美郷町産梅を原料とした梅酒の開発 ▶

宮崎県商工会連合会と包括連携協定を締結!

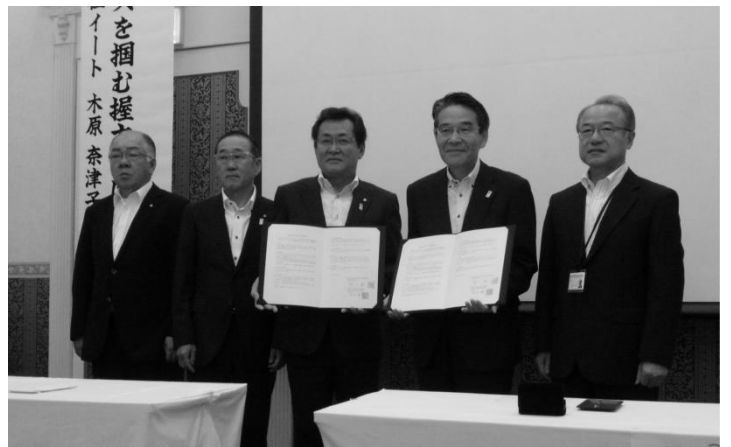
中山間地域の産業振興を支援します

当機構は、中小企業や小規模事業者の様々な経営課題に対して、より実効性のある支援を行っていくために6月29日に宮崎県商工会連合会と業務提携・協力に関する包括連携協定を締結しました。

商工会は県内の35箇所に設置されており、経営指導員が経営、金融、税務などきめ細やかな指導を行っています。また、当機構では、よろず支援拠点事業やフードビジネス相談ステーション、専門家派遣事業、中山間地域産業振興センター運営など、各種の事業を実施しており、お互いの強みを活かして、中山間地域での産業振興の支援を行っていきます。

連携事項

- (1) 中小企業や小規模事業者の創業、売上拡大等の様々な経営相談に対する対応。
- (2) フードビジネス、中山間地域産業振興及び農商工連携等の本県基幹産業振興施策の推進。
- (3) 上記(1)、(2)に関連するセミナーや講演会、相談会、広報等の各種事業の共催。



▲包括連携協定調印式での記念撮影

創業スクール

今回、宮崎県商工会連合会、佐土原町商工会、日之影町商工会、三股町商工会、と連携して創業スクールを開催することとなりました。

	テーマ	概要	講師
第1回	創業の心構えと販路開拓の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・創業の心構え ・自らが実現したい創業のイメージ作成 ・営業計画・販売戦略の作り方 	宮崎県よろず支援拠点 コーディネーター 中村 諭 (中小企業診断士)
第2回	ITを使った販売戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS、ブログ、HPの活用と情報発信 ・ネット通販の基礎知識 ・生産性向上のためのIT活用 	宮崎県よろず支援拠点 コーディネーター 小川 大輔
第3回	開業に必要なお金の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ・会計及び経理の基礎知識 ・資金調達方法 (創業融資・補助金等) ・収支計画の作り方 	リバーフィールドコンサルティング 代表 馬場 愛子 (中小企業診断士)
第4回	ビジネスプランの作り方	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョン、経営目標の設定 ・SWOT分析、クロス分析 ・実行計画の策定 	宮崎県よろず支援拠点 コーディネーター 馬場 拓 (中小企業診断士)

■佐土原町会場 (佐土原町商工会館) 申込締切: 10/25

第1回 10月30日 (日) 10:00~12:00 第2回 10月30日 (日) 13:00~16:00
 第3回 11月10日 (木) 18:00~21:00 第4回 11月17日 (木) 18:00~21:00

※日之影町商工会と三股町商工会での開催分については、9/21で申込を締め切りました

よろず支援拠点の相談体制を強化しました!

当機構では、国からの委託を受けて、県内の中小企業・小規模事業者の起業・成長・安定の各段階の課題やニーズに応じたきめ細やかな対応を図るため、平成26年6月からよろず支援拠点を開設しています。

今年度より新たに、弁護士や公認会計士、税理士など6名を増員し、13名のコーディネーターで、皆様からのあらゆる相談に対応させていただきます。

なお、よろず支援拠点では、当機構内のほか、都城、延岡、日南にサテライトを設けています。

コーディネーターの紹介



チーフ
コーディネーター
長友太
中小企業診断士



相談無料!

相談予約受付時間
平日 8:30~17:15

0985-74-0786

受付担当：経営情報課 柄本 河野



馬場 拓
中小企業診断士



島中 星輝
広告プランナー



黒田 泰裕
中小企業診断士



小川 大輔
WEB marketer



倉吉 教文
元商工団体職員



長友 悦子
元商工団体職員



村上 秀幸
公認会計士、税理士



長友 慶徳
弁護士・弁理士



中村 諭
中小企業診断士



柳本 明子
IT企業代表



下石 正秋
元商工団体職員



草野 喜代治
税理士
ITコーディネーター

開設場所

地区	場所	曜日	時間
宮崎	(公財)宮崎県産業振興機構 (宮崎市佐土原町東上那珂16500番2)	平日毎日	9:00~17:00
	出張相談会・宮崎グリーンズフィアビル吉番館(KITEN)8階	水・金	
都城	都城工業高等専門学校 地域連携テクノセンター (都城市吉尾町473-1)	火・水・木・金	
延岡	延岡市中小企業振興センター2階 (延岡市東本小路121-1)	火・金	
日南	日南油津商店街1番街内 (日南市岩崎3-7-15)	火・水・木・金	

産業支援みやざき No.258 平成28年度第1号

発行日：平成28年10月1日

編集：公益財団法人宮崎県産業振興機構

所在地：〒880-0303 宮崎市佐土原町東上那珂16500-2

TEL：0985-74-3850

FAX：0985-74-3950

<http://www.i-port.or.jp>